

RADIOLOGICAL SAITAMA

2012

別冊 No.4



vol.60

埼玉放射線

学術大会発表後抄録集Ⅱ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

<http://www.sart.jp>

E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

CONTENTS

2012/7

JULY

VOL.60

別冊

定期総会

第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会報告	1
第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会議事録(案)	2
正誤表	3
財務諸表	4
平成23年度 監査報告書	12

報告

第72回 公益社団法人 日本放射線技師会 定期総会 報告	14
------------------------------	----

本会の動き

寄付金の報告	16
リレー・フォー・ライフ川越2012ボランティア募集のお知らせ	17
診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー	18
「診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー」に参加して	19
診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー	20

各支部掲示板

第一支部	21
第二支部	22
第三支部	28
第四支部	30
第五支部	34
第六支部	35

会員の動向

会員の動向(平成24年5月28日現在)	37
---------------------	----

自由投稿

みんなのカブリッチオ	
SARTランニングクラブ通信 春日部マラソン	38

議事録

平成24年度 第1回理事会議事録(抄)	40
---------------------	----

役員名簿

平成24・25年度役員名簿	42
---------------	----

正会員入会申込書	44
退会届	46
求人コーナー	48
求人広告掲載申し込みFAX用紙	49

第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
総務常務理事 芦 葉 弘 志

平成24年5月26日土曜日14:00より、埼玉会館7B会議室（住所 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4）において 第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会が行われた。

開会の挨拶に続き、会長より「公益社団法人取得後、第1回目の節目となる総会なので、活発な審議をお願いしたい」旨の挨拶があった。司会より本年度の表彰受章者の披露および表彰状の贈呈、続いて、物故者へ黙祷を捧げた。

仙波総会運営委員長より、資格審査の結果を踏まえ、出席者と委任状の合計数が定款第17条に審査し、総会が成立することを認める旨の報告がなされた。

引き続き、定款第15条の規定に則り議長選出を行い、出席者の中から梅澤達也氏が議長に選出された。第1号議案 平成23年度事業報告案、第2号議案 平成23年度決算報告案、第3号議案 平成23年度監査報告、第4号議案（その他）それぞれについて議長が説明を求め、各担当より説明が行われた。採決は、それぞれについて行われた。第1号議案から3号議案について順次賛否を諮り、各議案は承認された。

副会長の「閉会の辞」にて決算総会は閉会となった。

その後特別講演となった。特別講演は、済生会宇都宮病院 副病院長 北條昌一先生の講演であった。北條先生は、診療放射線技師であり放射線科技師長、医療技術部長、検診部長などを歴任し、数年前より副院長として病院全体の組織改革に取り組んでいる方である。講演内容の一部を上げると

1. 診療放射線技師の職業名の頭には「診療」という文字が入っている、メカニカルなことだけをするのであれば、白衣を脱いで作業服を着ればよい。
2. 血管造影では、診療放射線技師がセカンドでガイドワイヤーなどの操作を行わせている。他職種と積極的に関わり合い、これまでの仕事の枠を超え、チーム医療の構築に取り組んでいる。
3. 専門看護師は、長期で入院している患者のポータブル撮影を含め、検査オーダーを将来的に出せるようになるのではということも考えている。そうなる私達は、看護師のオーダーで仕事をしなければならなくなる。個々が緊張感を持ってもらいたい。

というものであった。今後の診療放射線技師の進むべき道を教えていただいた素晴らしい内容であった。

第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会議事録（案）

- 1 日 時 平成24年5月26日（土）
14：00から16：00
- 2 場 所 埼玉会館7B会議室
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
- 3 会員数 1,164名
- 4 出席者 60名
委任状提出者 630名
合 計 690名
- 5 開 会

定刻、芦葉常務理事の司会により、会長の挨拶の後、表彰者の披露および表彰状の贈呈を行い、続いて物故者へ黙祷を捧げた。

仙波総会運営委員長より、資格審査の結果を踏まえ、出席者と委任状の合計数が定款第17条に基づき本総会は成立したことを認める旨の報告がされた。

引き続き、定款第15条の規定に則り、議長選出を行い、出席者の中から梅澤達也氏が議長に選出された。議事録署名人は議長および出席した理事とした。

(1) 第1号議案 平成23年度事業報告案

このことについて、議長は説明を求めた。報告は主に会長が行い、各担当常務理事より補足説明が行われた。

公益社団法人格の取得および、平成22年度と比較し、財政の健全化ができた旨の報告があった。

(2) 第2号議案 平成23年度決算報告案

このことについて、議長は報告を求めた。財務担当常務理事が決算書をもとに詳細に報告した。

(3) 第3号議案 平成23年度監査報告

このことについて、議長は監事に対し報告を求めた。監事は本会の事業活動が計画に基づき適切に実施したと認める。また会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載していると認める。計算書類等々は財産および、収支の状態を正しく示している旨の報告をした。

議長は、第1号議案から3号議案について順次賛否を諮り、各議案は異議なく承認された。

(4) 第4号議案（その他）

「理事及び監事の報酬額の上限に関する件」について、議長は説明を求めた。詳細な説明を堀江副会長が行った。

会場から「理事の報酬額の上限は個々のものなのか、それとも理事全員の合計なのか」という質問があり、執行部から「理事全員の合計である」旨の解答があった。

議長は、この4号議案について賛否を諮り、議案は異議なく承認された。

堀江副会長の「閉会の辞」にて定期総会は閉会となった。

正誤表

埼玉放射線第60巻第3号総会資料にて下記の誤りがありました。訂正しお詫びいたします。

頁	項目	誤	正
11	(6) 物故者	奥田 攪、橋本 美代子、永舩 忠夫	奥田 攪、橋本 美代子、永舩 忠夫、 磯 富男
	(7) 会員の動向 (平成24年3月31日現在)	退会者数 83名 平成23年度末会員数 1,189名	退会者数 108名 平成23年度末会員数 1,164名
	(8) 平成23年度 賛助会員	(8)平成23年度賛助会員 22社(順不同) シーメンス旭メディテック株式会社 GEヘルスケアジャパン株式会社 東芝メディカルシステムズ株式会社 株式会社三田屋製作所 株式会社日立メディコ 株式会社メディカル・サービスT&K コニミノルタヘルスケア株式会社 第一三共株式会社 ケアストリームヘルス株式会社 株式会社エルクコーポレーション 株式会社カイゲン 富士フィルムメディカル株式会社 株式会社鯨屋 株式会社島津製作所 日本メジフィジックス株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン エーザイ株式会社 東洋メディック株式会社 日本メドラッド株式会社 株式会社ケーアイシーメディカルシステム コヴィディエンジャパン株式会社 バイエル薬品株式会社 富士フィルムRIファーマ株式会社	(8)平成23年度賛助会員 24社(順不同) シーメンス旭メディテック株式会社 GEヘルスケアジャパン株式会社 東芝メディカルシステムズ株式会社 株式会社三田屋製作所 株式会社日立メディコ 株式会社メディカル・サービスT&K コニミノルタヘルスケア株式会社 第一三共株式会社 ケアストリームヘルス株式会社 株式会社エルクコーポレーション 株式会社カイゲン 富士フィルムメディカル株式会社 株式会社鯨屋 株式会社島津製作所 日本メジフィジックス株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン エーザイ株式会社 東洋メディック株式会社 日本メドラッド株式会社 株式会社ケーアイシーメディカルシステム コヴィディエンジャパン株式会社 バイエル薬品株式会社 富士フィルムRIファーマ株式会社 日本放射線防禦株式会社 株式会社ドクターネット

財務諸表

自：平成23年4月 1日
至：平成24年3月31日

〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町2-51-39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

財産目録
平成 24年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		金額		
(流動資産)				
	現金	1,677,843		
	普通預金	7,433,723		
	未収会費	899,000		
	未収金	420,000		
	前払金	19,090		
	仮払金	72,070		
流動資産合計			10,521,726	
(固定資産)				
その他固定資産				
	建物	7,418,267		
	什器備品	87,399		
	土地	13,155,850		
固定資産合計			20,661,516	
資産合計				31,183,242
(流動負債)				
	未払金	531,041		
	未払法人税等	126,600		
	前受金	9,000		
	預り金	23,568		
流動負債合計			690,209	
固定負債合計				0
負債合計				690,209
正味財産				30,493,033

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

貸借対照表
平成 24年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,111,566	8,328,755	782,811
未収会費	899,000	2,148,000	△ 1,249,000
未収金	420,000	664,500	△ 244,500
前払金	19,090	28,970	△ 9,880
仮払金	72,070	0	72,070
流動資産合計	10,521,726	11,170,225	△ 648,499
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	7,418,267	8,349,155	△ 930,888
什器備品	87,399	157,857	△ 70,458
土地	13,155,850	13,155,850	0
その他固定資産合計	20,661,516	21,662,862	△ 1,001,346
固定資産合計	20,661,516	21,662,862	△ 1,001,346
資産合計	31,183,242	32,833,087	△ 1,649,845
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	531,041	585,537	△ 54,496
未払法人税等	126,600	183,500	△ 56,900
前受金	9,000	945,000	△ 936,000
預り金	23,568	22,092	1,476
流動負債合計	690,209	1,736,129	△ 1,045,920
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	690,209	1,736,129	△ 1,045,920
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	30,493,033	31,096,958	△ 603,925
正味財産合計	30,493,033	31,096,958	△ 603,925
負債及び正味財産合計	31,183,242	32,833,087	△ 1,649,845

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

収支計算書

平成 23年 4月 1日 から平成 24年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
正会員会費収入	11,070,000	9,927,000	1,143,000
賛助会員会費収入	575,000	575,000	0
会費収入計	11,645,000	10,502,000	1,143,000
②事業収入			
事業収入	4,240,000	3,672,000	568,000
③寄付金収入			
寄付金収入	0	200,000	△ 200,000
④雑収入			
受取利息収入	10,000	468	9,532
雑収入	180,000	1,322,473	△ 1,142,473
雑収入計	0	1,322,941	△ 1,322,941
事業活動収入計	16,075,000	5,194,941	10,880,059
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
福利厚生費支出	0	91,464	△ 91,464
旅費交通費支出	0	195,220	△ 195,220
通信運搬費支出	0	634,880	△ 634,880
消耗品費支出	0	263,908	△ 263,908
印刷製本費支出	0	2,813,769	△ 2,813,769
賃借料支出	0	1,364,824	△ 1,364,824
諸謝金支出	0	761,545	△ 761,545
委託費支出	0	153,037	△ 153,037
支払手数料支出	0	39,183	△ 39,183
会議費支出	0	656,638	△ 656,638
雑支出	0	376,750	△ 376,750
事業費支出計	9,900,000	7,351,218	2,548,782
②管理費支出			
役員報酬支出	0	103,600	△ 103,600
給料手当支出	1,150,000	1,089,876	60,124
福利厚生費支出	380,000	411,715	△ 31,715
会議費支出	1,000,000	491,317	508,683
交際費支出	160,000	170,640	△ 10,640
旅費交通費支出	300,000	276,536	23,464
通信運搬費支出	470,000	785,972	△ 315,972
消耗品費支出	450,000	394,404	55,596
修繕費支出	40,000	9,870	30,130
印刷製本費支出	0	8,915	△ 8,915
光熱水料費支出	200,000	168,338	31,662
賃借料支出	0	1,626,643	△ 1,626,643
保険料支出	130,000	149,100	△ 19,100
諸謝金支出	900,000	1,000,505	△ 100,505
租税公課支出	120,000	119,500	500
支払手数料支出	300,000	257,971	42,029
貸倒償却	0	753,000	△ 753,000
雑支出	50,000	3,900	46,100
管理費支出計	5,650,000	7,821,802	△ 2,171,802
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	0	126,500	△ 126,500
事業活動支出計	15,550,000	15,299,520	250,480
事業活動収支差額	525,000	397,421	△ 397,421
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	2,000,000	0	2,000,000
投資活動収支差額	△ 2,000,000	0	△ 2,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	42,000	-	0
当期収支差額	△ 1,517,000	397,421	△ 1,914,421
前期繰越収支差額	1,517,000	9,434,096	△ 7,917,096
次期繰越収支差額	0	9,831,517	△ 9,831,517

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

正味財産増減計算書

平成 23年 4月 1日 から平成 24年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	9,927,000	10,611,000	△ 684,000
賛助会員受取会費	575,000	575,000	0
受取会費計	10,502,000	11,186,000	△ 684,000
事業収益			
事業収益	3,672,000	3,443,000	229,000
受取寄付金			
受取寄付金	200,000	200,000	0
雑収益			
受取利息	468	874	△ 406
雑収益	1,322,473	226,400	1,096,073
雑収益計	1,322,941	227,274	1,095,667
経常収益計	15,696,941	15,056,274	640,667
(2) 経常費用			
事業費			
福利厚生費	91,464	1,312,760	△ 1,221,296
旅費交通費	195,220	0	195,220
通信運搬費	634,880	0	634,880
減価償却費	483,329	0	483,329
消耗品費	263,908	0	263,908
印刷製本費	2,813,769	0	2,813,769
賃借料	1,364,824	466,404	898,420
諸謝金	761,545	0	761,545
委託費	153,037	0	153,037
支払手数料	39,183	1,735,337	△ 1,696,154
会議費	656,638	4,067,799	△ 3,411,161
連絡費	0	150,060	△ 150,060
調査事業費	0	127,872	△ 127,872
公共事業費	0	680,205	△ 680,205
表彰費	0	104,220	△ 104,220
地区会連絡調整費	0	476,400	△ 476,400
雑費	376,750	0	376,750
事業費計	7,834,547	9,121,057	△ 1,286,510
管理費			
役員報酬	103,600	103,600	0
給料手当	1,089,876	1,049,946	39,930
福利厚生費	411,715	0	411,715
会議費	491,317	862,059	△ 370,742
交際費	170,640	180,435	△ 9,795
旅費交通費	276,536	92,619	183,917
通信運搬費	785,972	592,840	193,132
減価償却費	511,546	1,035,308	△ 523,762
消耗什器備品費	0	201,656	△ 201,656
消耗品費	394,404	266,712	127,692
修繕費	9,870	26,670	△ 16,800
印刷製本費	8,915	0	8,915
光熱水料費	168,338	211,452	△ 43,114
賃借料	1,626,643	0	1,626,643
保険料	149,100	145,940	3,160
諸謝金	1,000,505	0	1,000,505
租税公課	119,500	116,600	2,900
支払手数料	257,971	254,231	△ 661,829
貸倒償却	753,000	0	753,000
業務委託費	0	919,800	△ 254,231
総会費	0	310,060	△ 310,060
雑費	3,900	116,027	△ 112,127
管理費計	8,333,348	6,485,955	1,847,393
経常費用計	16,167,895	15,607,012	560,883
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 470,954	△ 550,738	79,784
当期経常増減額	△ 470,954	△ 550,738	79,784

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
その他の経常外費用			
固定資産除却損	6,471	118,662	△ 118,662
徴収不能額	0	85,000	△ 85,000
その他の経常外費用計	0	203,662	△ 203,662
経常外費用計	6,471	203,662	△ 197,191
当期経常外増減額	△ 6,471	△ 203,662	197,191
税引前当期一般正味財産増減額	△ 477,425	△ 754,400	276,975
法人税、住民税及び事業税	126,500	192,200	△ 65,700
当期一般正味財産増減額	△ 603,925	△ 946,600	342,675
一般正味財産期首残高	31,096,958	32,043,558	△ 946,600
一般正味財産期末残高	30,493,033	31,096,958	△ 603,925
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	30,493,033	31,096,958	△ 603,925

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産

1. 平成19年3月31以前に取得したもの

旧定額法

2. 平成19年4月1日以後に取得したもの

定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	22,042,760	14,624,493	7,418,267
什器備品	1,741,030	1,653,631	87,399
小計	23,783,790	16,278,124	7,505,666
合計	23,783,790	16,278,124	7,505,666

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金、未収会費、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	505,647	1,677,843
普通預金	7,823,108	7,433,723
未収会費	2,148,000	899,000
未収金	664,500	420,000
前払金	28,970	19,090
仮払金	0	72,070
合計	11,170,225	10,521,726
未払金	585,537	531,041
前受金	945,000	9,000
預り金	22,092	23,568
未払法人税等	183,500	126,600
合計	1,736,129	690,209
次期繰越収支差額	9,434,096	9,831,517

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
その他固定資産	建物	8,349,155	0	930,888	7,418,267
	什器備品	157,857	41,522	111,980	87,399
	土地	13,155,850	0	0	13,155,850
	その他固定資産計	21,662,862	41,522	1,042,868	20,661,516

平成 23 年度監査報告書

私たちは、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定款 22 条に基づき、平成 24 年 4 月 24 日 18 時から本会技師会センターにおいて、会長、副会長、総務担当常任理事及び財務担当常任理事の立ち会いの下で、本会の平成 23 年度事業執行並びに財産状況について監査を実施しました。

本監査報告書を作成し、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの事業報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、事業執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討しました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書は、昨年度の社団法人埼玉県診療放射線技師会の事業・運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (3) 理事の職務執行に関し、不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項は認められません。

3 その他意見

本会のさらなる発展のために、監査結果の補足として述べさせていただきます。

- (1) 最初に、長年にわたり準備を進めてこられた本会の重大事業の一つである公益社団法人格を取得されたこと、こころより感謝と敬意を表したいと思います。
- (2) 次に会計監査での印象を述べさせていただきます。監査結果は上述のとおりです。またその内訳につきましても、昨年度指摘させて頂いたような予算額を大幅に超過した事業が認められなかったことから、適切な事業・運営の状況を確認することができます。

厳しい財務状況の中で事業を展開してゆくことは容易なことではありません。本会の運営は会費が資金源になっていることは言うまでもなく、そのための入会促進は本会にとって重要な事業であります。新卒者に対して毎年実施されているフレッシューズセミナー（SARL セミナー）は今回で 14 回目の開催でありました。本セミナーは新卒者に技師会活動を理解して貰い入会を勧める意味において、大いに期待するところであり、今後とも継続して頂きたい事業であります。

埼玉県内の診療放射線技師の日本放射線技師会への入会率は 7 割弱とっておりますが（日放技データ）、本会会員で日本放射線技師会に未入会の会員に対する入会促進キャンペーンは、今年の新規事業として大変に評価するところであります。今後は技師会未入会の既職者に対する入会促進と併せて、会員獲得事業の展開が必要であると思います。

- (3) 会員の誰もが参画できる技師会の構築が望ましく、そのためには地区会の活動が重要であります。理事会での各地区理事の報告を伺っても、その積極的な活動ぶりに敬服いたします。

特に、県内各地域の自治体が主催する『健康祭り』への参加は、医療放射線の安全性・有効利用の啓蒙活動として評価されるものであります。また、この度の公益社団法人格の申請に際しても審査官から高い支持を頂いた事業であります。益々の活躍を期待しております。

- (4) 公益活動は、これまでは志木市を中心に展開していた被ばく相談を県内各地に拡大し、相談件数も増えた旨の報告を頂いております。この被ばく相談は、本会の活動のみならずわれわれ診療放射線技師に求められている責務

であります。これまで蓄積されたQ&Aをデータベース化して、会員個々の共通した知識装置として活用できるようなシステムの構築が望まれます。

学術大会に併設して同時開催された市民公開講座も市民から好評を得た旨の報告を伺っております。上述した地区会における公益活動と併せて、公益社団法人として直接的に市民に対する利益の増進を寄与する活動部隊であり、益々の活躍を期待しております。

- (5) 本会会誌『埼玉放射線』の発行及びウェブサイトでの発信は、編集担当をはじめ関係各位の尽力によって、読み応えのある誌面作りがなされております。特に学術関連企画は、医療現場と密着した学術資料として高い評価であると思います。

公益社団法人格の申請に際して、監督官庁からの指導でにわかには公益的内容と共益的内容の分離化が余儀なくされた事案に窮しても、迅速に対応されたことを伺っております。今後益々公益性と共益性を兼ね備えた情報の発信源として進化して頂きたいと思っております。

- (6) 学術大会は本会最大のイベントであり、毎年志向を凝らして綿密な準備の基で開催されております。今回も過去最大の演題数が集まり、大勢の会員が参加するなかで活気に満ちた大会であったことは非常に評価されるものであります。一方、今回の大会テーマ『START TODAY』は、東日本大震災から1年が経過したことから理事会の承認の下で命名されたものでありますが、その意味付けがやや困難なプログラム編成であったことが残念でなりません。監査時にその旨を含めて小川会長に伺いましたところ、今後は実行委員会の組織改革及び年度をまたがった十分な準備期間を設けて学術大会に臨むとの回答を頂きました。今後の学術大会の展開戦略に期待しております。

昨年度は参加者の低迷を指摘させていただきました認定講習会（胸部、上部消化管、CT）は、今年度は開催日や講習内容の一部変更などで参加者増加の目的を達成できたこと、さらに新企画としてMRIセミナーを実施して、好評を得たことは非常に評価されるものであります。

- (7) 小川清会長は昨年度より日本放射線技師会副会長を兼務されております。この度の監査時に、会長に意地悪な質問を投げ掛けました。もし、名刺を一種類しか作る事ができず、そこに役職名を併記しなければならない場合、どちらを先頭にしますか？『埼玉県診療放射線技師会会長』ですか？それとも『日本放射線技師会副会長』の肩書きですか？

本会の会長が上部団体の要職を兼務されていることは、本会と上部団体との強力な架け橋となり、参画、連携、共催、協賛、協働、さらに具体的な事例までも挙げれば枚挙に遑がない効果が期待できます。また、教えてデメリットを挙げてみますと『身体は一つしかない』で、言い尽くされるのではないのでしょうか。3月の予算総会の欠席がこの事例に当て嵌ることになるかと思っております。会長ご自身としてもいずれも重要な責務故、決断する上で相当悩まれたのではないかと察します。このデメリットが相殺されるような組織のさらなる団結力を期待しております。

- (8) 最後に、『小粒でもピリッと辛い山椒の実』の如く本会への心象を抱き、さらなる飛躍を望みつつ、一言居士に徹して口うるさい監事に努めて参りました。事あるごとの（一方的な）苦言に苛み甚だ不愉快な感情を抱き、嘆いた役員の方々のようなすも想像に難くありません。監事の職域上難しいことだと思っておりますが、審議中及び審議後を含めて自由な回答の時間がもたれることを期待するとともに、さらなる開けた技師会運営を嚆望いたします。


以上、平成23年度の事業・運営について若干意見を述べさせていただきました。誌面の都合で掲げなかった事業につきましても適切に実行されたことを確認しております。

平成24年5月24日


公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

同

監事

山本英明 

監事

鈴木正人 

第72回 公益社団法人 日本放射線技師会 定期総会 報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

理事 八木沢 英 樹

平成24年6月2日（土）午前10時から午後2時まで「第72回 公益社団法人 日本放射線技師会 定期総会」が科学技術館サイエンスホールにて開催された。

はじめに、会長挨拶が行われた。その内容は

1. 診療放射線技師のグレーゾーンであった行為が一部認められ業務拡大となったが、今後さらに責任をもって業務を行っていかねばいけない。そのためにも十分な教育と研修の実施が条件として挙げられている。これらの実施を随時、技師会で行っていく。
2. 診療報酬改定にあたり、全国の医療機器故障実態調査をサンプル施設にお願いし、アンケート調査を実施していきたい。診療報酬改定から2ヶ月が経過し、その影響をアンケートで検証した上で、次期平成26年度診療報酬改訂に結びつけていきたい。
3. 国家試験作成を診療放射線技師の資格を持つ委員長の下で行いたい。

との事であった。

これらの話を聞き、日本放射線技師会は職能団体としての役目を果たし、診療放射線技師が今必要なことに取り組んでいるのだと実感した。

次に第1～7号議案について審議が行われた。内容を抜粋すると

第1号議案：平成23年度事業報告

昨年の平成23年3月11日（金）東日本大震災が起きた。その後、東京電力福島第1原子力発電所で1号機から4号機で爆発が起り、大量の放射性物質が大気中に放出され、一般住民に対する公衆被ばくという大きな問題が発生した。日本放射線技師会は地震発生直後から放射線サーベイヤーを福島県災害対策本部に派遣、4月11日からは検案前ご遺体の放射線サーベイも開始した。環境省からの要請により平成24年2月22日から「放射線被ばくに関する個別相談窓口」のモデル事業を開始した。

診療放射線技師の業務拡大について、全国的アンケート調査を踏まえ、厚労省と意見交換を行い、社会保障審議会医療部会でまとめていただいた。今後は委員会答申に基づき、診療放射線技師法の改訂や診療放射線技師業務について厚労省と折衝していく予定である。

診療放射線技師の養成は診療放射線技師の手で。診療放射線技師国家試験は診療放射線技師の資格を持つ試験委員長の下で問題を作成すべきとの本会の方針に基づき、平成22年から厚労省医政局医事課試験免許室と交渉をした。平成23年度は国家試験問題評価委員会を結成し、試験免許室に要望書を提出した。

入会促進に向けたフレッシューズセミナーを47都道府県放射線技師会で開催した。前年度より多くの新人が入会し、大きな役割を果たしたなどの報告があった。会場から地方技師会会員が減っているため、迅速に更なる入会の促進を行っていただきたいとの要望が出た。審議の結果、賛成多数で承認された。

第2号議案：平成23年度決算報告

審議の結果、賛成多数で承認。

第3号議案：平成24年度事業計画（案）

平成24年度の主な事業計画を列举すると

1. 東日本大震災に伴う被災地の復興と被災者に対する支援活動
2. 診療補助の拡大に伴う全国統一の臨床研修を実施
3. 診療放射線技師法の第一次改正に向けた事業の展開
4. 医療法第6条に基づいた広告のできる認定・専門技師制度構築事業の展開

5. 管理者・ミドルマネージャー養成研修の実施

6. 第28回日本診療放射線技師学会の実施

7. 医療関連有害事象に対する損害賠償保険への会員全員加入の実施

である。会場から、業務拡大に関する事項で初めに実施される注腸検査に関し、在宅講習（e-learning）、統一講習会、施設研修などの流れが分かりづらいという指摘があった。分かりやすく修正を加えていくとの回答があり、審議の結果、賛成多数で承認となった。

第4号議案：平成24年度予算（案）

学術大会運営費の検討をお願いしたいと会場から意見があり、今後の課題とするとの回答であった。審議の結果、賛成多数で承認。

第5号議案：定款の一部改正について（名称変更）

現在、チーム医療が推進される中で診療放射線技師の業務も拡大され、今まで以上に患者さんの観察・相談への対応・報告が求められている。また国家資格名称が「診療放射線技師」であることから、会の名称も「日本診療放射線技師会」と改めた方が良いとの意見が、数多くの会員から寄せられた。公益社団法人への移行登記を機会に、会の名称を「日本診療放射線技師会」と変更することの提案であった。可決の場合は定款ならびに諸規程で関係する字句も訂正することを含め、審議の結果、承認された。

第6号議案：組織規程の改正について

組織規程の一部の変更について提案された。これは本会の円滑な業務遂行を目的として、運営会議を設置し業務を遂行することから提案され、審議の結果、承認された。

第7号議案：平成24年度・25年度役員を選任について

公益社団法人日本放射線技師会は役員選任規程により、監事3名、理事22名以上25名以内（その内外部理事3名以内、地域理事8名、全国理事11名以上14名以内）の選任となっている。今回、全国理事の定員14名に対し16名の立候補あり注目の選挙となった。会場より全国理事立候補者の紹介をお願いしたいと提案があり、紹介・アピールが行われた。神奈川、東京、埼玉は各3名の立候補があり、人数配分で埼玉は少し不利なところがあるのではないかと感じ、開票まで緊張の時間が流れた。開票の結果、埼玉の小川清、加藤芳人、富田博信の3名が当選し、ほっとした瞬間であった。全ての審議が終了し新理事役員が壇上に立ち、小川清副会長が閉会の挨拶を行った。その後、速やかに理事会が行われ、会長：中澤靖夫、副会長：井戸靖司・小川清と決定した。

公益社団法人取得後の新体制の下、今まで以上に会員の期待が高まっていくと思われるので、今後の活動に注目したい。

【代議員】

堀江 好一、橋本 里見、田中 宏、結城 朋子、潮田 陽一、八木沢英樹、中村 正之

【総会職員】

庭田 清隆、星野 弘、矢崎 一郎、横山 寛



寄付金の報告

小島精一様より寄付を頂きました。

この度、平成23年秋の叙勲にて瑞宝双光章を受章された小島精一様から、本会へ20万円の寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

小島様は現在、公益財団法人埼玉県健康づくり事業団にてご活躍されておりますが、過去には東松山市立市民病院の放射線科部長を歴任された他、消化器がん検診学会の世話人、本会においては監事を務められるなど、病院外の診療放射線技師にも目を掛けていただきました。本当にありがとうございました。

小 川 清

リレー・フォー・ライフ川越2012ボランティア募集のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 小川 清

平素は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度もリレー・フォー・ライフ川越に参加することが決定致しました。本会として、たくさんの方が参加され、支援の輪が広がることを願いボランティアの募集をいたします。わずかな時間でも結構です。ご参加していただける方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

開催要項

リレー・フォー・ライフ川越 2012

日 時：平成24年9月15日（土）13時00分～16日（日）13時00分

会 場：川越水上公園芝生広場

場 所：埼玉県川越市大字池辺880

内 容：がん患者さんや家族、その支援者と共に会場を交代で24時間歩きます。また、チャリティ活動としてかき氷の販売や医療画像展を行います。

参 加 費：無料

寄 付：一人500円以上（個人負担）

申 込 期 間：平成24年7月17日～平成22年9月8日

問い合わせ：埼玉社会保険病院 星野 弘 Mail h-hoshino@sart.jp



リレー・フォー・ライフ川越：<http://www.rfl-saitama.com/> 無料駐車場：500台

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

— 平成24年度（第14回）SARTセミナー —

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 総務常務理事 田 中 宏

平成24年5月20日、埼玉県済生会川口総合病院にて、公益社団法人日本放射線技師会、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会合同主催によるフレッシューズセミナーが開催されました。

参加者は42名でした。

本セミナーは技師会活動のアピールと新人教育を目的とし、未入会者を対象としていますが、既に勤務されている方が原点に戻る内容も含まれており、診療放射線技師であればどなたでも受講できます。

プログラム内容は以下の通りです。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 技師会について（認定制度） | 田中 宏 |
| 2. 社会人としてのエチケット・マナー講座 | 中根 淳 |
| 3. 患者さんに優しい診療放射線技師 | 岡田 智子 |
| 4. 医療安全講座 | 佐々木 健 |
| 5. 感染対策講座 | 佐々木 健 |
| 6. 気管支解剖講座 | 富田 博信 |
| 7. 症例検討会 | |
| 乳房 | 越沼 沙織 |
| CT・肺 | 城處 洋輔 |
| 消化器 | 今出 克利 |



症例検討会



講義

「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」に参加して

さいたま赤十字病院 兼 子 友 美



5月20日に、埼玉県済生会川口総合病院で行われたSARTセミナーに参加しました。セミナーでは、社会人としてのエチケットマナーから読影まで、丁寧に教えていただきました。多くの素晴らしい先輩技師の貴重なお話を伺うことができ、より診療放射線技師という仕事の重要度や責任を感じ、身が引き締まる思いが致しました。

“患者さんに優しい診療放射線技師”という講義で教えていただいたことは早速実践しています。「技師にとっては何万回目の検査でも、患者さんにとっては初めての検査である」という言葉がとても印象的でした。患者さんに気持ち良く検査を受けて帰っていただくためにできることは何か、以前よりも考えながら検査をしています。

“気管支解剖講座”では気管支の分岐を短時間で楽しく覚えられる“気管支体操”を教えていただきました。私は立体的な解剖を覚えるのが苦手であったため、とても感謝しています。これからCT部門に行くのが楽しみです。

“症例検討会”では乳房・肺・消化器の読影を教えていただきました。難しい部分もありましたが、大変勉強になりました。マンモグラフィは特に女性技師が活躍できる検査だと思いますので、積極的に勉強し、認定技師などの資格を取りたいと考えています。

他にも医療安全・感染対策などの講義をしていただき、とても充実した一日でした。

技師会では各種専門分野における生涯学習セミナーの開催や、診療放射線技師総合学術大会の開催、各種認定資格制度や臨床技術能力検定などを行っていると聞きました。社会人になっても勉強できる場があることは本当にありがたいことだと思います。私もぜひ技師会に参加し、技師としての能力を高めたいと感じました。セミナーで教えていただいたことを忘れずに、質の高い医療を提供できる診療放射線技師になりたいと思います。

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

上尾中央総合病院
小島久実

平成24年5月20日に開催されたフレッシューズセミナーでは、私たちがこれから診療放射線技師として業務を行なっていく上で必要なエチケット・マナー、患者さんに対する接遇、医療安全・感染対策、気管支解剖の講座や症例検討会が行われました。

エチケット・マナー講座では、診療放射線技師である前に社会人としての電話応対、タクシーや会議室での席次、ビジネスメールの書き方など、社会人マナーを学びました。接遇の講座では「患者さんに優しい診療放射線技師」ということで、患者さんが安心して検査を受けられるような言葉遣いや対応を学ぶことができました。技師にとっては何万回目の検査でも、患者さんにとっては初めての検査であるので、患者さんの目線に立って対応しなければならないと感じました。医療安全講座では、医療事故を防ぐための安全管理の取り組みを学び、危険予知トレーニングなどを行って、ひとりひとりのリスクセンスの強化を行うことが必要であるということ学びました。感染対策講座では、感染症や感染予防の理解を深め、手洗いや手指消毒の手順、ガウンの着用の仕方を習いました。気管支解剖講座では右肺と左肺の解剖図の気管支分枝に色を塗り、また気管支体操を行なって、右肺10区域、左肺8区域の気管支の解剖を目と体で覚えることができました。症例検討会では、CT（肺）、マンモグラフィー、上部消化管撮影の3種類の検査の症例検討を行いました。CTは、胸部の主な所見である陰影やサイン、肺癌、びまん性肺疾患などの画像を見て、その病気の特徴を学びました。マンモグラフィーでは、カテゴリー分類、病変の形状分類、読影の手順など基礎的な知識を学び、そのあと実際に自分たちで腫瘍や石灰化を見つけ、境界、石灰化の形状をカテゴリー分類しました。病変がある場所がわかっても、その病変を細かく分類するのは難しく、たくさん症例画像を見てよく観察する必要があると感じました。上部消化管撮影では胃透視画像よりマンモグラフィー同様、病変の肉眼型分類、胃壁進達度などの分類をして検討しました。またリンパ節、肝臓、腹膜転移の分類、組織型分類、癌の進行度などについて学びました。

今回のセミナーでは基礎的な知識を学び実習することができました。このセミナーで学んだことを今後の業務に生かし、成長していきたいと思えます。

第一支部

支 部 報 告

1、第3回地区勉強会

日 時：平成24年5月30日（水） 19：00～20：30（受付18：30～）

場 所：コムナーレ浦和9階（浦和パルコ）第15集会室

参加費：500円

参加者：55人

内 容：①公益社団法人移行に関する説明 埼玉県診療放射線技師会 副会長 堀江好一

②MRI

さいたま市立病院 三橋則行

『磁場強度の違いを臨床画像で活かそう！』

～ 1.5T VS 3.0T ～

③医療被ばく

済生会川口総合病院 志藤正和

『医療被ばくと被ばく低減施設取得への取り組み』

機器展示 18：30～21：00



今後の予定

1、「浦和区健康まつり」開催

さいたま市市民活動および協働の推進助成事業として「浦和区健康まつり」に第一支部として参加します。

日 時 平成24年11月3日（土曜日）10時～16時

場 所 浦和コミュニティセンター（浦和駅東口コムナーレ10階）

主 催 さいたま市浦和区保健センター

協 働 アシスト浦和21

内 容 ・医療で用いる放射線検査についての説明
・無料骨密度測定の実施

第二支部

平成24年度 第2地区第1回勉強会開催報告

日 時：平成24年4月19日（木）18:30～20:30

場 所：所沢市保健センター 2Fホール

参加者：75名

1) 豊岡第一病院 山下隆行

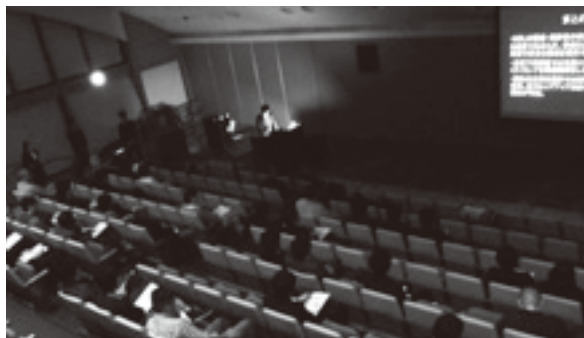
製品紹介では東芝メディカルシステムズMRI担当 鈴木道貴氏より「3TMRI Vantage Titan3T」の最新情報であった。受診者にやさしい71cmの大経口Open Bore、短軸システムを実現し検査が困難な受診者がリラックスして受けられるようになった。そして、大経口により四肢等の撮像で応用が可能になった。

3Tの課題であった体幹部ではMulti-phase Transmission採用。3Tによる体幹部撮像ではRF磁場 (B1) の不均一の影響が大きいが、Multi-phase Transmissionでは位相と振幅を調節して、均一な磁場を形成できるように調整する。さらに、給電ポイントを4ポート、アンプを2つに増やすことで、人体が入った状態での補正の精度が向上した。腹部・骨盤部の画像ムラを改善し、均一で安定した画像が得られるようになっている。

今後Titan3Tの新しい技術、シーケンスの開発に期待したい。

一般研究発表では東芝メディカルシステムズ MRIアプリケーション担当 宮田知子氏より「非造影MRAでの鎖骨下動脈の描出について」を発表された。今回は比較的どの施設でも使用している装置で東芝独自のFBI法を使用し、TI、TEの撮像条件を変更し比較検討であった。TE30msでは動脈が低信号になる収縮期で、欠損部の動脈信号が残存する。TE80msを使用することで偽狭窄の出現を低下させることができた。TIはPSより鎖骨下動脈の最大流速がR波から150ms程度であった。そしてK空間の中心到達時間が150msであることが望ましいと考えられるTI+TE+ディレイ時間=150ms程度がポイントということで、ディレイ時間と背景信号を低下させるにはTI100msが最適である。

呼吸同期は使用することで画質向上に適しているが、撮像時間の延長があるため、注意が必要である。今後、非造影の検査が増加していく中でシーケンスの検討、研究を期待したい。



2) 所沢ハートセンター 柴俊幸

原田病院瀧澤氏より2地区役員施設を対象にした震災に関するアンケート調査の結果を報告していただいた。

地震大国とも呼ばれる日本で大きな被害をもたらす震災の発生が懸念され、医療従事者ならずともその意識を高める必要性も感じさせられる。

本報告での報告内容は2011年3月11日の関東大震災発生時に行っていた業務内容や災害発生時の施設及び放射線技師の対応、災害発生時に対する対策がなされているかなどを問うたアンケートの報告であった。患者誘導や避難経路の確保など各個人の災害時の対応としては概ね行われているものの院内マニュアルについての有無やその内容については不安が残る結果となり、今後の課題とすべきである。また、非常時の検査については予約が困難になることや電力供給の不安定さから医療従事者及び患者負担も大きくなると考えられ、十分なインフォームドコンセントや施設内での取り決めの重要性が窺える。

医療スタッフとして患者の安全・安心の確保に努めるためには、各個人で動くことの他に、他のスタッフ及び周囲地域の施設や公共施設、そして技師同士のつながりも強固なものにしていかなくてはならないのではと考えさせられた。

和光病院横島氏よりFull Filmlessシステム導入について報告して頂いた。近年、院内のあらゆるシステムがデジタル化され、放射線検査についてもフィルムレス化される施設は増加の一途を辿っている。

メリットとしては診療報酬改定に伴う様々な加算や、他施設との医療連携時に円滑に情報の授受を行うことが可能となる。しかし導入時の費用やランニングコストが生じ、また、新たな管理体制を布く必要がある。診療放射線技師としてより良い画像をより円滑に提供できるスペックやシステムを望むが、院内システムの大幅な変更となるために、読影に携わる医師をはじめとする他のスタッフ、施設規模、他の機器との整合性などの兼ね合いも考慮しなければならない。デジタル化に伴うデメリットとして、そのシステムが何らかの原因で破綻をきたした場合には院内及び患者への不利益は大きいものであり、日ごろの管理や機器メーカーとの連携が重要となり、保守契約の必要性も大きい。また、ガイドラインに示される真正性、見読性、保存性の電子保存の3原則を順守する必要があり、新たに学ぶべきことも生じる。

このようなシステムが一般化され始めた今日、診療放射線技師は検査に関わるもの以外のシステムの構築や機器選定、経営展望も考えていかなければいけない時代になっているのではないかと考えさせられる。



3) 春日部市立病院 工藤年男

「胃バリウム検査の実際」と題して、3施設から胃検査に対しての工夫・応用について発表があった。内容は各自スライドによる説明と、検査時の状況をビデオ上映で頂いた後、発表者3人が壇上に上がり、ディスカッション形式で会場参加者と検討会を行った。

1、社会医療法人財団石心会狭山病院 佐藤 秋生氏

胃検査は、その時の環境と患者状態が検査に影響するとして、硬い撮影台の苦痛を考慮するため撮影台にマットを敷き、体位変換時の苦痛緩和に役立っている。また、手すりには頭低位時の滑り止めのゴムを巻き付け、検診者に対し安心を与える工夫をされている。食道下部撮影では開いた二重造影になるタイミング観察に注意した撮影を行い、腹臥位正面撮影では枕の使用もしくはヒップアップ撮影をされているとの発表であった。

2、豊岡第一病院 山下 隆行氏

受診者に協力を得る目的で、接遇に重点を置いた検査風景時の写真を用いた説明を行い、胃バリウム検査を理解して頂きスムーズに検査を行える工夫をされている。検査中でも検診者自身の胃をモニターで観察して頂き、撮影説明を実施されている。

撮影技術としては、胃形による回転法の変化と圧迫頭を用いた撮影工夫をされている。撮影法を前壁二重造影撮影において枕を差し込む時に、撮影台をある程度起倒した状態で、患者の上体も起こしてから枕を入れる工夫をされている。使用する枕も、胃形の違いにより工夫した枕を作成し使用している。

3、入間市医師会 宮野 博希氏

良質な胃検査を実施するための工夫として、健診者と短時間に信頼関係を得るためコミュニケーションの充実に努めている。①ゆっくり話す②否定的な言葉を使わない③上手く動けたら褒めることに重点を置いている。

技術的な工夫としては、検診者の多くが高齢者であり、前壁撮影では頭低位の角度を少なくした撮影を行っている。前壁撮影時では、日本消化器がん検診学会が推奨する新・撮影法を導入した枕を使用した撮影を行い、捻れた胃形にはX管球を斜入射で撮影を行い死角の無い撮影を行っている。

会場からは、上部消化管撮影時の工夫や注意点の質問が多く聞かれた。特に前壁撮影時の工夫として、胃形による枕の形や入れ方について多くの質問があった。

横胃や牛角胃の前壁撮影では、鉤状胃撮影とは違い、胃形に有った前壁撮影枕の使用が不可欠で有り、枕の堅さ、大きさ、高さ、入れる体位、入れる位置により違いがあります。

今後も前壁撮影において、有効的な枕の形や工夫について比較研究した発表を期待したい。



平成24年度 第2地区第2回勉強会開催報告

日 時：平成24年5月17日（木）18:30～20:30

場 所：所沢市保健センター 3F会議室

参加者：58名

1) 所沢市市民医療センター 中邑 友香

本セッションでは、富士フィルムメディカルの宮野氏にデジタル式乳房用X線診断装置AMULETfの製品紹介をしていただいた。

このAMULETfは昨年2011年9月に発売され、世界最小画素 $50\mu\text{m}$ の直接変換型のFPDを搭載している。2008年発売のAMULETと比較すると、X線検出器などは同じだが読み出し方式がTFT方式から富士独自の、Direct Optical Switchingテクノロジーになり、電気ノイズの低減と画素サイズ $50\mu\text{m}$ を両立可能とし撮影間隔が15秒と短縮されている。また、撮影後から画像表示までの時間も8秒となっている。

高精細画像と効率のよいワークフローにより、診断しやすい高画質画像を提供する上、精度管理ソフトウェア対応となっており、手間のかかる日常の品質管理を簡単に実施する機能もついている。

また、3Dマンモグラフィについての興味深い製品紹介もしていただいた。

3Dマンモグラフィとは、従来のステレオ撮影のように僅かに角度を変えて自動で2方向撮影をし、高精細画像モニターに重ね合わせて偏光フィルター付き眼鏡で立体的に見るという仕組みである。

乳腺と石灰化の3D画像を見せていただいたが、立体的に見えるので皮膚の石灰化などは一目瞭然で、乳腺の構築の乱れと正常乳腺の重なりも区別できるので、診断の助けになることは間違いなさだろうと思われる。

本セッションが一部でも各施設、各参加者の今後の業務への還元の一助になれば幸いである。



2) 所沢ハートセンター 大西 圭一

国立障害者リハビリテーションセンター前野氏より「MRI・X線（デジタル）の応用の可能性について」の発表があった。

前野氏は、f-MRI、MRSの時間依存性について研究に携わり数多くの論文を投稿している。

論文によると、高次脳機能評価の信憑性を高めるためには時系列的な賦活信号の変化を知ることであり、また数秒の短時間刺激信号の描出は時間分解能を高めることにつながり今後、高次脳機能の評価を大きく変える可能性を秘めているとある。

MRSについても時間依存された代謝物質の変化を確認することにより高次脳機能検査の応用に可能性があるとされている。

今回の発表においても時間依存の有用性を話して頂き、またMRSの研究を論文化する際には年齢群、性差の検証をしっかりしないといけないと述べている。

将来的な展望として下肢損傷予防や変形性関節症の定量評価への挑戦について紹介頂いた。

座長の私も含め、会場の参加者は臨床現場に携わっているものがほとんどであったため、質問はなかったが、私からMRSの測定再現性の問題を解決するために技術的な進歩はどこまで進んでいますかと質問させて頂いた。技術的な進歩はほとんどないとの回答であった。メーカーの更なる技術進歩が待たれるところである。

前野氏は、研究発表、論文投稿を数多くしており、学会発表また論文投稿の取り組み方はとても勉強になった。

我々放射線技師は、日々の検査に対してより良い検査をするためには、どうすべきか常に考えなくてはならない。物理評価、臨床評価、撮影技術の向上など多種あるがこれらを検証し学会発表すべきである。

間柴医院の中村氏より「日立64列マルチスライスCT SCENARIA（シナリア）使用報告」について発表があった。内容としてはCTCについてと心臓CTについての発表であった。

間柴医院では、CF後にCTCを行っているため、Ascending-colonの検査不十分さが示唆された。今後検証して、改善して頂きたい。

心臓CTに関してはIntelli IPを使用していないということであったが明確な根拠が示されていなかった。臨床で使えるように今後も詳細な検討を期待したい。

今回、スライドには出ていないが体幹部CTでIntelli ECの使用状況を聞いたところ使っていないということであった。これも明確な根拠を聞くことは出来なかったが、CTにおける画質の確保とX線被曝抑制を両立させるCT-AECは必要不可欠なので、使用できるよう検証していただきたい。

埼玉県内には日立64列CT導入施設は少ないため今後も詳細な検討及び発表を期待したい。

3) 公益社団法人 地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター 中古 安俊

2008年に頸動脈ステント留置術（以下CAS）の保険承認がされて早くも4年が経過した。CASを施行する施設も多くなり、今回は改めてCASの基礎的な内容について2施設の方に講演していただいた。

はじめに、圏央所沢病院の石川雄三氏にCASの術前検査、IVR中での技師の役割について講演していただいた。術前で施行されるモダリティは、超音波、頭頸部MRI、CT、血管撮影があげられた。頸動脈超音波と頸動脈MRI・MRAにおいて血管の狭窄率、プラークの形状や性質の評価が行われる。特にMRIでは脈波同期撮影によってプラークの性質を詳細に得ることができ、CAS術前の頸動脈MRAでは通常の撮影よりも範囲を広げカテーテルのアクセスルートを非造影で確認している。圏央所沢病院ではキセノンガス吸入装置が導入されており、Xe-CTによる脳循環血流量の評価、ダイアモックス負荷による脳循環予備能の評価が行われている。脳循環予備能の評価は、術後合併症である過灌流症候群を予測することができ、術後の血压管理を決定するのに重要な役割を果す。血管撮影は頭蓋内血管の評価と、患側の頸部総頸動脈のDSA撮影、3DDSA撮影を施行し、血管径と病変長を計測し使用するデバイスを決定している。

IVR中の技師の役割として、清潔ビニールの装着、インジェクターの操作、ロードマップの設定、血流遮断時間やバルーン拡張圧の記録などがあげられていた。術前の血液データからeGFR（推算糸球体濾過量）を算出し、腎機能が低下している患者には造影剤を75%に希釈することを医師に促している。術前検査をふまえた症例提示もしていただいた。

つぎに、順天堂大学医学部附属順天堂医院の齊藤雅志氏にCASで用いられる手技法、デバイスについて講演していただいた。ガイドワイヤーの病変部通過、バルーン拡張、ステント留置を行う際にデブリスによる遠位塞栓を防ぐため、様々なプロテクション方法が用いられている。ディスタールプロテクション法、プロキシマルプロテクション法について詳しく説明していただいた。頸動脈用ステントは保険承認されているopen cell typeのPreciseとclosed cell typeのWallstentについてそれぞれの特徴について、また実際の症例提示や術中・術後の管理についても話していただいた。

最後に、手技方法やステントの選択は、術前検査で得られた情報によって決まり、施行されるモダリティは、患者の病態を把握するのに重要な役割を持ち治療に直結している。また、デバイスや医師が施行する手技についても、放射線技師が深い知識を持ち、医師とのスムーズな連携を図ることにより、安全な医療を提供できるのではないかと感じた。



第三支部

第三支部だより

第三支部理事 庭田 清隆

(1) 第1回 第三支部 勉強会報告

- 日時：平成24年6月21日(木) 19:00～
 場所：埼玉医科大学総合医療センター 5階大講堂 ゼミ1
 埼玉県川越市鴨田辻道町1981
- 内容：最新デジタルマンモグラフィ装置について
- ・シーメンス・ジャパン株式会社
 - ・GEヘルスケア・ジャパン株式会社
 - ・東芝メディカルシステムズ株式会社
 - ・株式会社日立メディコ
 - ・株式会社イメージ・ワン (マンモビューワデモ 18:30～ゼミ1)
 - ・株式会社東陽テクニカ (マンモビューワデモ 18:30～ゼミ1)



講演

- ・フルデジタルマンモグラフィについて
 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 杉村 瞳

(2) 第1回 第三支部 役員会報告

- 日時：平成24年6月21日(木) 21:00～
 場所：埼玉医科大学総合医療センター ゼミ1
 埼玉県川越市鴨田辻道町1981
- 内容：合同勉強会意見調整、川越市健康まつり実行委員について、他確認事項

(3) 第三支部・第三地区 平成24年度事業計画

- ア. 納涼会(平成24年7月28日)
- イ. リレー・フォー・ライフ川越参加・イベント開催(平成24年9月15～16日)
- ウ. ボウリング大会(平成24年10月25日 予定)
- エ. 川越市健康まつり(平成24年11月4日 予定)
- オ. 第2回 第三支部勉強会(平成24年11月22日 予定)
- カ. 第2回 役員会(平成24年11月22日 予定)
- キ. 第二支部・第三支部合同勉強会(平成24年12月1日 予定)
- ク. 新年会(平成25年1月5日 予定)
- ケ. 第3回 第三支部勉強会(平成25年3月21日 予定)
- コ. 第3回 役員会(平成25年3月21日 予定)
- サ. 平成24年度 第三支部 定期総会(平成25年3月21日 予定)

第三地区会

(4) 第三地区納涼会のご案内

日 時： 平成 24 年 7 月 28 日 (土) 19:30～

場 所： 手作り居酒屋 甘太郎 川越店
埼玉県川越市脇田町 9-3 三経 71 ビル 2F

会 費： 4,000 円 (新卒新入会会員 2,000 円)



(5) ごあいさつ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 第三支部として昨年度と同様に勉強会を計画しております。また新たな試みとして、第二支部との合同勉強会を 12 月に開催いたします。たくさんの方の参加をお待ちしております。

第三地区の活動として、納涼会をはじめ様々な親睦会を計画しております。また本年度も 9 月に開催されるリレー・フォー・ライフ川越に参加いたします。

第三地区以外の方、非会員の方でも、たくさんの方が参加していただくことで、より一層支援の輪が広がると信じております。

本年度も役員一同、支部・地区活動に尽力して参ります。

ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

第四支部

小柳洋二先生 公衆衛生事業功労賞受賞祝賀会報告

医) 秩父病院 近 藤 和 彦

平成24年4月27日（金）午後7時より、秩父市ナチュラルファームシティ農園ホテルにて、松本クリニック小柳洋二先生の公衆衛生事業功労賞受賞祝賀会が開催されました。

平日の開催で、さらに秩父という遠方にもかかわらず、多くの方のご臨席を賜りました。私は受付を担当していましたが、みなさん楽しそうに会場へ進まれる姿が大変印象的で、これも小柳先生の人徳の成すところであると思います。

祝賀会は、和やかな雰囲気（小柳先生と実行委員は少々緊張気味）のなか始まり、次第に席を離れて談笑する姿が多く見受けられるようになりました。私自身も多くの先輩方や同年代の方とお話ができて、大変有意義な時間を過ごせたと思っております。

祝辞は、小川会長、松本クリニック院長松本先生など多くの方からいただき、私の知らない小柳先生を知ることができました。また飲み仲間(?)のスピーチでは、会場から手渡されたビールを飲み干すハプニングもあり、その場の盛り上がりはピークに達し、それは落ちることなく終宴を迎えることとなりました。

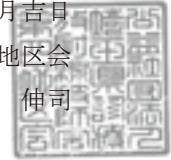
その後二次会へと移りましたが、会場まではバスでの移動となりました。二次会のご案内を当日したにも関わらず、予想をはるかに超える方のご参加をいただきました。中には予定を変更してまでご参加いただいた方もいらっしゃり、「さすが小柳さん！」と改めて感じさせられました。幹事としては想定外の人数に少々あわてましたが、会も無事終了することができ、また皆さまに十分楽しんでいただけた様子にホッといたしました。

最後になりますが、遠方より、また仕事を終えたその足で会場までお越しいただいた皆さまに感謝申し上げます。



会員各位

平成 24 年 6 月吉日
 埼玉県診療放射線技師会第 4 地区会
 会長 山田 伸司



平成 24 年度 第 4 地区会納涼会のご案内

若鮎おどる季節、会員の皆さまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また第 4 地区運営に際しましては、日頃大変お世話になり、感謝申し上げます。

さて、表題のとおり、今年度の納涼会を開催する運びとなりました。場所は公共交通機関を使用しやすい、熊谷駅前を選定しました。

皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

役員一同、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日時 平成 24 年 7 月 27 日 (金) 19 : 00 ~

場所 酒菜工房 禅や

熊谷市 筑波 3 - 8 5 東屋ビル 1 F

TEL 048-525-4405

zenya@kissou.com <http://www.kissou.com>

(タウンページ情報)

会費 5,000 円 (当日徴収いたします)

なお、会場の都合もありますので参加される方は、7 月 13 日までにお近くの各役員までご連絡をお願いします。

以上

小川赤十字病院	山田 伸司	TEL	0 4 9 3 - 7 2 - 2 3 3 3
			s-yamada@sart.jp
小鹿野中央病院	関根 茂夫	TEL	0 4 9 4 - 7 5 - 2 3 3 2
東松山市立市民病院	山崎 由紀敏	TEL	0 4 9 3 - 2 4 - 6 1 1 1
深谷赤十字病院	斎藤 幸夫	TEL	0 4 8 - 5 7 1 - 1 5 1 1
深谷赤十字病院	小林 成幸	TEL	0 4 8 - 5 7 1 - 1 5 1 1
行田中央総合病院	萩原 貴之	TEL	0 4 8 - 5 5 3 - 2 0 0 0
熊谷総合病院	清水 浩和	TEL	0 4 8 - 5 2 1 - 0 0 6 5
羽生総合病院	大野 渉	TEL	0 4 8 - 5 6 2 - 3 0 0 0

第15回秩父市保健センターまつり 参加報告

第4地区 萩原 貴之

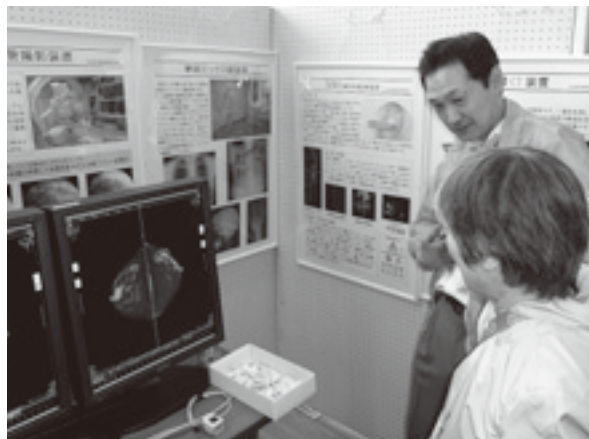
平成24年6月3日（日）秩父市保健センターにて、「家族みんなで健康チェック！」をテーマに、第15回秩父市保健センターまつりが行われました。当日は雨が降るあいにくの天気の中、お子さんから高齢者まで、幅広い世代の方々と賑わいを見せました。

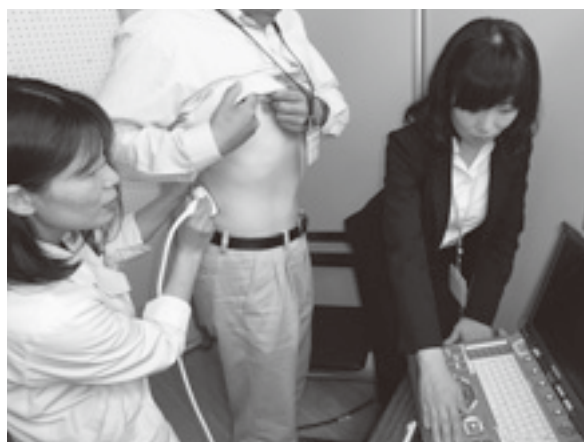
埼玉県放射線技師会第4地区会では公益活動の一環として毎年参加しています。「あなたのための医療画像展」として「パネル展示」「骨密度測定」「腹部エコー体験コーナー（肝・腎コントラスト）」「子供のためのヨーヨー祭り」「コニカミノルタ 血中酸素濃度（SPO₂）測定」「コニカミノルタ ワークステーション展示」を企画しました。来場者数は骨密度測定156名、腹部エコー体験52名、と今回も大盛況でした。

腹部エコー体験（肝・腎コントラスト）では秩父臨床医学研究所から臨床検査技師の山本祐子様、河合芳美様にもご参加していただき、多くの来場者に丁寧な手技でご協力いただきました。来場者の中には初めてのエコー体験の方もいらっしや、多くの質問をいただき関心の高さが伺えました。

これからもこのような活動を通じて我々診療放射線技師の職種・役割を知っていただき、多くの方の健康維持のお手伝いできればと思います。

最後に実行委員の方、ご協力いただいたメーカーの方、大変お疲れ様でした。





第15回秩父保健センターまつり実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
関根 茂夫(実行委員長)	小鹿野中央病院	小柳 洋二	松本クリニック
山田 伸司	小川赤十字病院	山中 隆二	秩父病院
小林 茂幸	深谷赤十字病院	吉田 真一	秩父病院
萩原 貴之	行田中央総合病院	近藤 和彦	秩父病院
清水 浩和	熊谷総合病院	中村 誠	秩父病院
大野 渉	羽生総合病院	旭 拓也	秩父病院
長谷川 英治	羽生総合病院	玉川 敏	秩父市立病院
浅見 肇	深谷赤十字病院	引間 択朗	秩父市立病院
		勅使河原 真由美	秩父臨床医学研究所

臨床検査技師

秩父臨床医学研究所 山本 祐子様 河合 芳美様

ご協力メーカー

コニカミノルタヘルスケア株式会社 水野様 松谷様

栗原医療器械店株式会社 田中様

株式会社カイゲン 今泉様

第五支部



第五支部

情報交換会

場所は春日部市にある市民活動センター〔ふれあいキューブ〕
会議室をご用意いたします

7月19日 19:00～

8月23日 19:00～

詳しくはHPなどのご案内いたします。

(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

(グチや世間話でもOKです)

テーマなど皆様のご意見をお待ちしています。

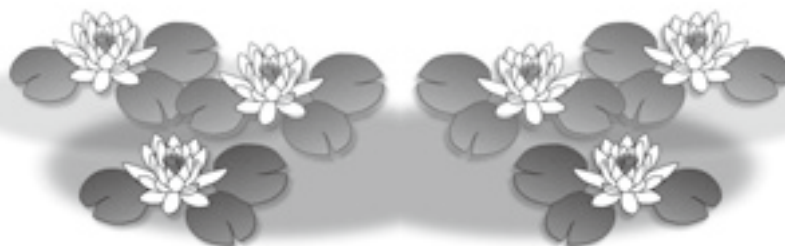


5月の交換会は23名の参加をしていただきました。


手探りの状態ではじめていますので何かと不手際が目立つと思いますがご容赦を……

五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)

今年の越谷市民祭りは10月21日の開催です
ご協力をお願いいたします。



第六支部



埼玉県放射線技師会第六地区

発行：埼玉県放射線技師会第六地区会

1. 巻頭言 副会長 高嶋 豊
2. 第1回定期講習会報告

2012年6月10日 平成24年度 第2号

震災から一年 《心と想い》

丸山記念総合病院 高嶋 豊

東日本大震災から一年が過ぎ、さまざまな人の強さ・想いを考えることが多くなりました。震災直後の映像や震災に遭った方々の話を聞くたびに、どういう思いだったのか考えるだけで辛くなります。そこで、今回は人の心・想いについて考えました。私たちは、多くの人と触れ合うと同時にたくさんの感情と向き合っています。日常生活・仕事場、多くの場面で人と接しています。これだけ多くの感情に接しているにもかかわらず、自分自身の想いをうまく伝えられないことが多々あることに気付く時があります。今春の選抜高校野球、石巻工業高校の選手宣誓で私は感銘を受けました。そこには、“何をすべきか・何をしたいのか・何を大切にしているのか”など自分達の想いが的確に伝えられていました。人はとかく日常生活の忙しさや、きっと分かっているだろうという一方的な考えで気持ちをきちんと相手に伝えず、また相手の気持ちも聞かず過ごしていることが多いと思われま。私自身も、実際自分の想いにも相手の想いにも無頓着でいたように思います。でも今回、石巻工業高校の選手宣誓を聞いて考えさせられました。

医療従事者として、患者様と日々向きあう仕事をしていく中で、果たしてどれだけ患者様の想いに気付くことが出来ているだろうか？

病院に来院するほとんどの患者様は、心や体に不安・苦痛を抱えている方が多い。私たちは、病気や検査のことは理解していたとしても、患者様の痛み・不安をすべて知ることは不可能です。多くの病院はたくさんの患者様を抱え日々過酷な勤務をしていると思います。そのような中で、果たしてどれだけ患者様の身になり医療を行っているのでしょうか。今、医療の現場で求められているものは、人の心を察する力なのではないかと思えます。現在、医療の発展は進み、たくさんの検査や技術の進歩により多くの病気を発見・治療することが出来るようになってきました。そのような中で、忘れてはいけないもの、それは患者様の想い。日々の勤務の中で、業務のみを遂行し、検査を進めていくのは簡単ですが、人と人が接していることを決して忘れてはなりません。こちらの都合を押し付けるのではなく、患者様と十分に意思の疎通をし、不安や苦痛を少しでも和らげ信頼していただい

から医療を提供する。この気持ちを大切にしていかなければならないと思います。これは、患者様に限らず職員として、また人として常に必要な事であると考えます。人と人が接

する時、そこに信頼関係が生まれれば必ず不安は取り除かれる。どんな場面においても、どのような状況にあってもこの姿勢を大切にしていこうと思います。

平成 24 年度 第 1 回定期講習会報告



埼玉県立小児医療センター 織部祐介

平成 24 年 6 月 8 日、上尾中央総合病院にて平成 24 年度第六地区会第 1 回定期講習会が開かれ、参加させていただきましたので報告させていただきます。

今回の講習会は演題が 3 題ありました。

1 題目は、指扇病院の安川氏によるもやもや病についての講演がありました。もやもや病の発生機序だけでなく、こういった治療が行われるのか。また、実際の症例画像なども見せていただきとても勉強になり、興味深く聴かせていただきました。

2 題目は、さいたま赤十字病院の大河原氏によるディズニーから学ぶ患者接遇という講演を聴きました。

キャスト（ディズニーで働いている人）が理念としている 4 つの鍵である、『Safety：安全』、『Courtesy：礼儀』、『Show：ショー』、『Efficiency：効率』について話をさせていただきました。それぞれを、『医療安全』、『コミュニケーションの重要性』、『毎日を初回の気持ち』、『チーム医療』といった医療従事者の場合に例えて講演をしていただきました。

3 題目は、社会保険大宮総合病院の竹内氏の一般研究発表で、胃 X 線検査における胃粘膜萎縮度判定と胃癌リスク検診（ABC 法）の相関性の検討という内容でした。

私が今までは関わったことのない分野でとても難しい内容でしたが、非常に分かりやすく解説して下さい、研究内容にも感心しました。

今回講習会に参加をさせていただいたことで、これからの勉強会で様々な知識を得る必要性を感じ、勉強だけでなく実際の臨床の場での患者に対する接遇も大切にしていきたいと思いました。

このような貴重なお時間に参加させていただきました本当にありがとうございました。

みんなのカプリッチオ

SARTランニングクラブ通信 春日部マラソン

国立リハビリ 肥 沼 武 司

平成24年5月4日 朝は微妙な天候で時折弱い雨。毎年春日部マラソンは真夏日の印象ですが今年は少し違っていました。

最近SARTランニングクラブのメンバーが偶然一緒にの大会に参加するなど、チョコチョコいろいろな大会に参加していますが、とりあえずみんなで集まろうと目標にしていた春日部マラソンに6名と、新たに済生会川口総合病院の豊田さんが参加、家族を含めると12名と大所帯で集合しました。そして川口総合病院は別に看護師さんも参加していました。勢いのある病院はいろいろ参加してアグレッシブで素晴らしいです。

さて、メンバーは全員完走！！ 恒例の補給宴会は大会会場の公園で行いました。本当はBBQをやりたいのですが、大会参加者の規模から終日禁止になってしまいました。残念。っということで飲み物を持ち寄りみんなで乾杯。完走の喜びを分かち合いました。



←左から

山本さん・工藤さん・豊田さん

→左から

内田さん・川田さん・小川さん



競技中は時折雨も降っていましたが、補給宴会の頃には晴れ間も見えてきました。





補給宴会をのんびりやって、帰宅の送迎バスに乗り、他のランナーがすっかりいなくなってからの乗車でしたので、最寄り駅までの送迎バスは貸しきり状態でした。



次回、SARTランニングクラブの集合は半年後の11月に開催される上尾マラソンを予定しています。上尾マラソンは公認大会でもあり、箱根駅伝のエリートランナーも参加する大会で、身近にエリートの走りを見られる機会でもあります。

またコースはほぼフラットと走りやすく、初心者向けのコースとなっており、初めて走る方にはピッタリな大会です。

ぜひ走った後は一緒に補給宴会しませんか？ご連絡お待ちしております。

sartランニングクラブメンバー募集

「関心はあるけど1人で大会に出るのはちょっと・・・」という方もチームとして一緒に出場すれば完走の喜びを皆さんで分かち合えること必至です。

趣味の範囲で、以下のゆる～い内容で一緒に楽しく走りませんか？

- 1：練習は各自自主活動
- 2：大会出場の際所属は「SART」と記載
- 3：出場後は走った分のカロリーをビールなどで補給宴会
- 4：連絡窓口（国立リハビリ 肥沼t-koinuma@sart.jp）まで

平成24年度 第1回理事会議事録（抄）

日 時：平成24年4月4日（水）

午後6時30分～午後9時30分

場 所：技師会センター

出席者：会 長：小川 清
副 会 長：堀江 好一、橋本 里見
常 務 理 事：田中 宏、芦葉 弘志、結城 朋子、
潮田 陽一、富田 博信、
理 事：星野 弘、八木沢 英樹、佐々木 健、
双木 邦博、大西 圭一、庭田 清隆、
山田 伸司、石川 直哉
監 事：山本 英明
顧 問：和田 幸人
委任状提出者：中村 正之、栗田 幸喜、今出 克利、
矢崎 一郎
欠 席：鈴木 正人

第1. 会長挨拶（要旨）

4月1日をもって、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の登記が完了したことを報告いたします。これも、役員全員一丸となったからこそ取得することが出来たのだと思います。心から感謝申し上げます。理事の皆様には、2年間お願いすることになりましたが、新法人の運営をよろしく願います。また、会員の皆様が誇れるような運営をお願いいたします。

第2. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議 長：堀江 好一
議事録署名人：橋本 里見、田中 宏
議事録作成人：芦葉 弘志
と定めた

第3. 報告及び確認事項

1. 会長（小川）挨拶

- (1) 表彰関係について。
- (2) 医療画像情報精度移行に関する通知
- (3) 平成24年度関東甲信越学術大会埼玉企画 読影コーナーについて。

2. 副会長（堀江）

- (1) 2月18日（土）日本放射線技師会北関東地域拡大会長会議に出席した。
- (2) 2月23日（木）第六地区会の総会にて移行認定の説明をした。
- (3) 2月27日（月）埼玉県庁の谷戸様から電話で移行認定が決定したことが伝えられた。
- (4) 3月2日（金）第五地区会の総会にて移行認定の説明をした。
- (5) 3月22日（木）第三地区会総会にて移行認定の説明をした。

3. 副会長（橋本）

- (1) 2月18日（土）日本放射線技師会北関東地域拡大会長会議に出席した。
- (2) 公益社団法人への移行登記を石川司法書士事務所へ依頼した。登記事項証明書は4月10日頃に受け取れる予定。税務署、銀行等で必要となった場合は連絡ください。
- (3) 公益社団法人移行に伴い実印の印鑑カードが新しいものに変更した。

4. 総務（田中）

- (1) 第28回予算総会についての反省点は以下の通り報告をした。
 - ア. 委任状で「出席」にチェックをしている方が、学会会場にいるが、総会の会場にはいないケースが多かった。
 - イ. 進行マニュアルに一部不備があり、スムーズな進行が出来なかった。進行マニュアルは修正済みである。
- (2) 市立甲府病院の事件を受け、将来、埼玉県内において診療放射線技師が医療事故、医療過誤に巻き込まれた場合の対策について報告をした。
 - ア. 日放技がマスコミや警察への対応を行うので必要に応じ、埼放技として協力を行う。
 - イ. 理事、専門家（技術的、社会的、法律的）を含み数人でチームを作り、主に精神的なバックアップ体制を作る。精神的なバックアップとは社会的、家族、経済面、仕事など、考えられる範囲の相談に乗れることが望ましい。
- (3) 公益法人取得に伴い名刺を新たに作成する。
- (4) 2年以上の会費未納者87名に対し、会員存続意思確認をしたところ、11名が会費納入、76名が退会した。
- (5) 日放技に入会していない埼放技会員182名が153名になった。

5. 総務（芦葉）

- (1) （社）埼玉県放射線技師会永年勤続表彰40年9名、20年33名について対象とした。
- (2) 日本放射線技師会 カウント申請について説明した。

6. 編集・情報（潮田）

- (1) 埼玉放射線2012年第2号の発刊
 - ア. 埼玉放射線2012年第2号の発行は3月13日に発刊された。
- (2) Webサイトの運営
 - ア. 公益社団法人取得や勉強会など、Webサイトの更新およびメールマガジンの発行を行なった。
- (3) 創立60周年記念誌発刊作業
 - ア. 創立60周年記念誌の編集作業を行った。
 - イ. 創立60周年記念誌の紙質について、印刷会社と検討した。
 - ウ. 創立60周年記念式典来賓ならびに記念講演講師へ記念誌を発送した。
- (4) 学術刊行物郵便物の変更を郵便事業株式会社へ届け出た。
 - ア. 団体の名称の変更
 - イ. 発行人の変更
 - ウ. 所在地の変更
- (5) 今後の予定
 - ア. 第1回編集・情報委員会（2012No.1）
 - (ア) 日時：平成24年4月10日 18：30～
 - (イ) 場所：技師会センター
 - (ウ) 内容：埼玉放射線 2012年第3号発刊について
 - イ. 埼玉放射線 2012年第3号発刊
 - (ア) 日程：平成24年5月16日 予定
- (6) 埼玉放射線2012年第3号掲載予定内容を確認した。

7. 編集・情報（八木沢）

- (1) Webサイト 掲載および更新（会員用）を確認した。
- (2) Webサイト 掲載および更新（一般用）を確認した。
- (3) メールマガジンNo.47 配信

8. 学術（富田）
- (1) 第7回学術委員会を平成24年3月6日に技師会センターにて行なった。
 - ア. 学術大会マニュアルの最終確認
 - イ. 実行委員会場および担当責任者の業務連携など把握、確認
 - ウ. 24年度講習会、セミナーについての素案提案
 - (2) 第27回埼玉放射線学術大会報告
参加会員 254 非会員 32 学生 22 賛助会員 46
総計 354
9. 公益（中村）
- (1) 第4回公益委員会を開催した。
 - ア. 日時：平成24年2月24日（金）18：30～20：30
 - イ. 場所：技師会センター
 - ウ. 内容：第27回学術大会について
 - エ. 参加者：5名
 - (2) 第27回埼玉放射線学術大会 県民公開講座
 - ア. 公開講座参加者：約40名（一般参加：約15名）
 - イ. 骨密度測定 : 約35名
 - ウ. 被ばく相談 : 1名
10. 財務（結城）
- (1) 平成24年3月末日現在の会費納入状況について説明した。
 - (2) 平成23年度補正予算（案）および平成24年度当初予算（案）について3月11日の予算総会で承認をいただいた。
 - (3) 今後の予定
 - ア. 平成23年度決算書類の作成
 - イ. 5月の決算総会にて平成23年度決算報告を行う。
11. 第一地区（双木）
- (1) 地区総会を開催した。
 - (2) 第3回地区勉強会を開催した。
 - (3) 第4回地区役員会を開催した。
12. 第二地区（大西）
- (1) 第3回勉強会・地区総会を開催した。
13. 第三地区（庭田）
- (1) 第3回 第3地区 勉強会を開催した。
 - (2) 平成23年度 定期総会を開催した。
14. 第四地区（山田）
- (1) 第3回 地区勉強会を開催した。
 - (2) 地区監査会を開催した。
 - (3) 地区総会・勉強会を開催した。
15. 第五地区（矢崎）
- (1) 地区役員会を開催した。
 - (2) 地区勉強会を開催した。
16. 第六地区（石川）
- (1) 平成23年度第六地区総会および第三回定期講習会を開催した。
- 第4. 審議・承認事項
1. 新入会の承認について審議し、承認した。（議案書番号：理-1）（承認）
 2. フレッシュアップセミナー（第14回SARTセミナー）について審議した。開催日平成24年5月20日（日）、参加予定者45名（昨年実績44名）、昨年同様、公益社団法人日本放射線技師会との合同企画であると担当理事より説明があった。採決の結果承認となった。（議案書番号：理-2）（承認）
 3. 第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会（決算）および懇親会開催について審議した。審議内容は①特別講演②総会后、公益社団法人取得祝賀会として懇親会を開催したい旨の2つの案件であった。①について3名の候補者が上がり、担当理事より講演内容の説明があった。多数決により済生会宇都宮病院北條副院長（診療放射線技師）に決定した。②についてa参加費全て個人負担、b公益社団法人取得祝賀会として、会から一部補助する案が出され、多数決によりbに決定した。名誉会員には招待状を発送し、参加者を増やす働きかけを会として行っていく事で承認となった。（議案書番号：理-3）（一部修正後承認）
 4. 求人広告掲載についての内部規程制定について審議した。担当理事より内部規程の案が出され、原案通り承認となった。（議案書番号：理-4）（承認）
 5. 読影実践トレーニング（胸部編）について審議した。担当理事より勉強会の趣旨、予算について説明された。皆が参加しやすいように平日開催、参加費は500円として承認となった。（議案書番号：理-5）（一部修正後承認）
 6. 第28回学術大会開催会場について審議した。会員の利便性や会場の大きさなどを考え、今後、大宮ソニックシティで開催したい旨の説明があった。予算は昨年度の会場より安価であることの説明があり、承認された。（議案書番号：理-6）（承認）
 7. 会誌「埼玉放射線」の投稿規程改変について審議した。担当理事より投稿規程修正案が出され、原案通り承認となった。（議案書番号：理-7）（承認）
 8. 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会取得に伴い新たな封筒作成について審議した。封筒デザインは編集情報委員会に一任、色は封筒を送付したとき、目立つ方が良いという理由により現行の緑からピンクに変更することで承認した。（議案書番号：理-8）（承認）
 9. リレー・フォー・ライフ川越への参加について審議した。例年通りの内容で承認となった。（議案書番号：理-9）（承認）
 10. 秩父市保健センターまつりの医療画像展参加に関し審議した。例年通りの内容で承認となった。（議案書番号：理-10）（承認）
 11. 公益社団法人への移行に伴い、会の名称変更が生じたため、印鑑等の新規作成について審議し、承認した。（議案書番号：理-11）（承認）
 12. 平成23年度事業報告案について審議し、承認した。（議案書番号：理-12）（承認）
- 配布資料（メール配信を含む）
- (1) 会長資料
 - (2) 副会長資料
 - (3) 総務・財務資料
 - (4) 編集・情報資料
 - (5) 学術資料
 - (6) 公益資料
 - (7) ホームページ資料
 - (8) 各地区資料（第一地区、第二地区、第三地区、第四地区、第五地区、第六地区）
 - (9) 議案書

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

平成24・25年度役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	小川 清	小川赤十字病院	0493-72-2333	k-ogawa@sart.jp
副会長	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副会長	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
常務理事(総務)	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
常務理事(総務)	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
常務理事(財務)	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
常務理事(編集・情報)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常務理事(公益)	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
理事(学術)	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
理事(学術)	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
理事(学術)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
理事(編集・情報)	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
理事(公益)	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
理事(総務)第一支部	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
理事(総務)第二支部	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
理事(総務)第三支部	庭田 清隆	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	k-niwata@sart.jp
理事(総務)第四支部	山田 伸司	小川赤十字病院	0493-72-2333	s-yamada@sart.jp
理事(総務)第五支部	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六支部	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	山本 英明	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-yamamoto@sart.jp
監事	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧問	和田 幸人	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	y-wada@sart.jp

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
副委員長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
副委員長	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委員	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委員	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
委員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	庭田 清隆	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	k-niwata@sart.jp
委員	山田 伸司	小川赤十字病院	0493-72-2333	s-yamada@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-tanaka@sart.jp
委員	岡田 義和	埼玉県健康づくり事業団	048-859-5173	y-okada@sart.jp
委員	千田 俊秀	所沢市市民医療センター	04-2992-1170	t-chida@sart.jp
委員	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
副委員長	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
副委員長	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
副委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp
委員	横山 寛	埼玉県立小児医療センター	048-758-1812	h-yokoyama@sart.jp
委員	越沼 沙織	済生会習志野総合病院	047-473-1281	s-koshinuma@sart.jp
委員	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	m-hirano@sart.jp
委員	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
委員	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
副委員長	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
委員	白石 圭	伊奈病院	048-721-3692	k-shiraishi@sart.jp
委員	栗田 裕樹	佐々木病院	048-571-0242	y-kurita@sart.jp
委員	川田 俊彦	埼玉社会保険病院	048-832-4951	t-kawata@sart.jp
委員	坂田裕実子	埼玉社会保険病院	048-832-4951	y-sakata@sart.jp
委員	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
委員	菅野 方仁	大宮中央総合病院	048-663-2501	m-sugano@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	荻野 孝	埼玉医科大学病院	049-276-1264	t-ogino@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
副委員長	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
委員	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委員	工藤 安幸	東松山市立市民病院	0493-24-6111	y-kudoh@sart.jp
委員	志田 智樹	レインボークリニック	048-758-3891	t-sida@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	澁市 直紀	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4192	n-shibuichi@sart.jp
委員	長谷部和仁	豊岡第一病院	04-2964-6311	k-hasebe@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会したく会費を添えて申し込みます。

フリガナ		性 別	生 年 月 日	
氏 名		男・女	西 暦 年 月 日	

<p style="text-align: center;">1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
--	---------------	--

フリガナ	TEL — —
勤務先名	
フリガナ	〒
勤務先住所	
フリガナ	TEL — —
自宅住所	

会誌送付先	① 勤務先	所属支部（地区）
	② 自宅	

診療放射線 技師免許	国家試験	第	回	合格
	登録	第	号	年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦	年	月
	卒業年月日	西暦	年	月
	学校			

関連分野の 最終学歴	学位	ある	なし
	学位記番号		
	授与年月		
	授与機関		

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812
さいたま市北区宮原町2-51-39
TEL048-664-2728
FAX048-664-2733

退 会 届

年 月 日

会員番号	
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
退会技師会名 どちらかに ○をつけてください	①日本放射線技師会と埼玉県診療放射線技師会を退会 ②埼玉県診療放射線技師会会員のみとなる
会費納入状況	年度分まで納入済み

決済処理

埼玉放技	
日放技	

会員異動届

ファックス送信票

下記のとおり送信いたしますので、よろしくお願ひいたします。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名 _____
	施設名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

*郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会員登録変更届

平成 年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入下さい			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入下さい	
	ふりがな 自宅住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 改姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

発行部数：約1250部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・3・5・7・9・11月中旬

原稿締切日：発行月の1ヶ月前の1日

申込方法：巻末用紙を用いFAX送信または、同項目を記載し電子メールにて申し込み。法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

本会は求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

求人コーナー

募集対象者

雇用形態

業務内容

待遇

勤務時間

休日

募集人員

宿舍の有無

社会保険など

応募方法

その他

求人広告掲載申し込みFAX用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mailアドレス	
担当者	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 FAX番号 048-664-2733
 電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

